



観音寺市立伊吹小学校

学校だより 第12号

「伊吹イレブン」

令和2（2020）年11月10日（火）発行



観音寺市立伊吹中学校

今年の成果を発表「ふるさと学習発表会」



11月6日（金）に「ふるさと学習発表会」を開催しました。今年には新型コロナウイルス感染症予防のため、一般公開はできませんでしたが、伊吹小・中学生はしっかり発表できました。◆最初のプログラムは、中学生の琴の演奏「さくらさくら」でした。短い期間の練習でしたが、

高橋先生のご指導のもと、いい演奏ができました。◆次は、小学生の発表「伊吹島の過去と未来」でした。低学年が「海の豊かさ」について、中学年が「今と昔のいりこ漁」について、高学年が「自然災害と環境問題」について、持続可能な社会の実現をテーマに発表しました。長いセリフに苦労しましたが、学習の成果を発表できました。



◆続いて、中学1・2年生がピアノ連弾で「やさしさに包まれたなら」を披露しました。3人が息を合わせて上手に演奏できました。◆続いて、小学生全員による演奏「校歌」と「宝物」でした。低学年の2人も鍵盤に挑戦し、上級生と一緒にがんばりました。



◆最後は、中学3年生の大川蒼月さんによるピアノ演奏「風のとおり道」でした。9年間過ごした小・中学校への思いを込めた演奏を聞かせてくれました。

昨年の発表会からの1年間での子どもたちの成長に驚くとともに、その成長の確かさを感じました。これからも、共に歩み成長する仲間であってほしいと思います。

2022瀬戸内芸術祭に向けての学習会実施



学習発表会の後、瀬戸芸実行委員会による学習会を実施しました。次回の瀬戸芸が伊吹島にとって良いものになるように、今から一緒に考えていこうとするものです。講師には男木島から福井大和さんが来校され「瀬戸芸による男木島の変化」について話してくださいました。こうした場を活用し、よりよい瀬戸芸の在り方を考えていきたいと思ひます。（文責：白井 基）